

日本応用老年学会メールマガジンは、日本応用老年学会会員・関係者にむけて日本応用老年学会事務局が毎月発行しております。

東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

おひとりでも多くの方の安全と、一日でも早い復旧をお祈り申し上げます。

日本応用老年学会 理事長 柴田 博

— 目次 —

【1】事務局からのお知らせ

【2】朝日新聞連載「古い 十五章」柴田 博(最終回)

15. 年齢で分けて考えるのは間違い  
(2008年4月14日 夕刊)

---

---

**【1】事務局からのお知らせ**

学会誌「応用老年学」Vol.5 No.1 発刊予定について

例年通り6月初旬の発送を予定しておりますが、震災等、諸般の事情により多少送れる可能性があります。ご了承ください。

---

**【2】「古い 十五章」朝日新聞掲載**

日本応用老年学会理事長 柴田 博

15. 年齢で分けて考えるのは間違い(2008年4月14日 夕刊)

人はどう年をとるか。生物的な面はもとより社会、心理など様々な面から学際的に研究するのが老年学です。それを社会に役立てようというのが日本応用老年学会の役割の一つです。

日本では「学会」は「知の場」と考えられ、社会に役立つことに重きは置かれませんでした。新たな知見が役立つなら、自然に応用されると思われてきました。でもそんなことはありません。応用も科学ですし、実社会と離れて科学は存在できないでしょう。

日本では高齢者を「特殊な塊」と考えているのではないのでしょうか。

高齢者のみを対象とした医療というように。でも人は連続した存在です。生まれ、育ち、老いていく。年齢による区分けは間違いなのです。

日本は今でこそ世界に冠たる長寿国ですが、平均寿命が 50 歳になったのは戦後です。欧米に半世紀遅れています。寿命が急激に伸びても社会が成熟できていないのでしょう。

高齢者の問題もさることながら世代間問題も見過ごせません。社会がサクセスエイジングを迎えるためにも、取り組みを急ぐ必要があります。

.....

以上

- 
- ・ 内容、記事に対するご意見、ご感想、ご要望などは、  
日本応用老年学会「E-mail : info@sag-j.org 」までご連絡  
お願いいたします。
  - ・ このメールマガジンは、日本応用老年学会会員・関係者の  
皆さまに配信しております。  
配信の停止は「E-mail : info@sag-j.org 」までご連絡お願い  
いたします。

---

編集・発行: 日本応用老年学会事務局  
(掲載記事の無断転載を禁じます)

---

日本応用老年学会事務局  
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2  
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター  
研究所 自立促進と介護予防研究チーム内  
TEL : 03-3471-2370  
E-mail: info@sag-j.org  
日本応用老年学会ホームページ  
<http://www.sag-j.org/>

---